

「ミュージアムから見た新潟」

1 趣 旨

それぞれのミュージアムに課せられたミッションのもと、歴史、美術、産業、自然科学、個人の偉業…など様々な角度から新潟を見つめてきたエキスパート達が語る深い新潟の話。新潟市域外からの視点も織り交ぜ、より高度で豊かな新潟理解を目指します。

2 希望曜日・時間

第一希望：水 曜日 午前・**午後** 2 時 ～ 午前・**午後** 4 時

第二希望：木 曜日 午前・**午後** 2 時 ～ 午前・**午後** 4 時

3 講座コーディネーター

横山 秀樹(新潟市新津美術館 館長)、田中 茉莉恵(北方文化博物館 学芸員)

4 主な受講対象者(ターゲット) 関心のある方。(博物館に行ったことのない方、大歓迎。)

5 プログラム・指導講師

回	テーマ(案)	内 容	講 師
1	多彩なる新潟文化の源流 仮日程 6/10(水)	国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭のテーマでも取り上げられた「文化の丁字路」新潟。特に美術の視点からその流れを見てみます。	新潟市新津美術館館長 横山 秀樹
2	「豪農の館」を支えた大地—沢海(そうみ)とその周辺 仮日程 6/17(水)	阿賀野川と小阿賀野川の分岐する地に沢海藩の御殿がありました。この地に誕生した豪農の館—北方文化博物館の背景を紹介します。	北方文化博物館館長 神田 勝郎
3	高田築城 豊臣・徳川の支配と越後の都 仮日程 6/24(水)	越後国府の地位を引き継いだ高田城とその城下町。最後の「越後の都」となった高田築城の時代背景を探ります。	上越市立歴史博物館副館長/学芸員 花岡 公貴
4	千曲川と信濃川—流域の文化と特徴— ★公開講座(予定)仮日程 7/8(水)	信濃川・千曲川は越後と信濃を文化・物資等で繋いできました。川を通して両国の文化を多角的に眺め、新潟の特徴を確認してみたいと思います。	長野県立歴史館館長 笹本 正治
5	燕の金属産業と新潟 仮日程 7/15(水)	燕市は日本を代表する金属加工産地です。なぜ燕市が世界有数の金属加工産地に成り得たのか。その背景に潜む物語をご紹介します。	燕市産業史料館主任学芸員 齋藤 優介
6	大日本地名辞書を独力編さんした吉田東伍と「郷土」 仮日程 7/22(水)	郷土の大地こそが「日本」の風土を組み立てているとし、たった独りで国中の「郷土」を集大成した超人学者の見据えていた郷土の未来を考えます。	阿賀野市立吉田東伍記念博物館元館長 渡辺 文男
7	新潟の人々と植物 仮日程 8/5(水)	新潟に生えている樹木の種類やその役割、また身近な街路樹についてなど、新潟の人々と植物についての関わりを幅広くご紹介します。	新潟県立植物園園長 倉重 祐二
8	水族館から見た新潟の魅力 仮日程 8/19(水)	対馬海流にそった日本海の生物、川や潟・田んぼなど身近な水辺の生物、これらの飼育や展示を通して見える新潟の姿を伝えます。	新潟市水族館館長 加藤 治彦 または 新潟市水族館展示課長 野村 卓之
9	企業美術館から新潟市民へのメッセージ 仮日程 8/26(水)	コンクールによる若手作家の育成や、美術コレクションの企画展示など、活動を通じた新潟市民との関わりを見つめなおします。	雪梁舎美術館理事長 捧 実穂 新潟市新津美術館館長 横山 秀樹
10	総括 博物館で新潟を学ぶこと—博物館学から 仮日程 9/2(水)	館種、設置者、運営主体が多様化する博物館業界の背景をふまえ、より良い社会のために博物館とどう向き合うべきかを探ります。	新潟市新津美術館館長 横山 秀樹